

私たちはボランティアですか？

なぜ全員が「自主」活動をするのか？

JRK活動を知らない方はいないでしょう。多くの職場では若手社員を中心にほぼ全員が参加している(させられている?)のではないのでしょうか?知っている方も多いと思いますが、JRK活動は、労働時間ではなく、自分の時間で取り組む**自主活動**であり、強制ではありません。**嫌なら断っても全く問題ないのです。**

JRK活動では、職場の問題点や改善点をみんなで話し合い、解決していくことによって社員同士の絆が深まるという考え方があります。素晴らしい考えです。しかし、これは勤務時間外に「活動」として取り組むよう会社側から働きかけるべきものでしょうか?普段仕事をしていれば、問題点、改善点などは嫌でも浮かんできます。**同じ疑問を持った者同士がその都度話し合っていくことが自然な流れではないでしょうか?**

強制ではないけれど、確実に将来の評価に関わってくる?確かに会社主催の発表会に参加したという事で評価の対象になるかもしれません。しかし、**他に発表会はいくつありますか?私たちがどれたけタダ働きをしたら評価をもらうことができるのでしょうか?そもそも、評価の基準はどこにあるのでしょうか?**

タダ働きは社会の常識?

自主活動は強制ではないけれど、会社が発展するためにはタダ働きも仕方がない、社会人だから・・・こう思っている方が多いのではないのでしょうか?もはや社会の常識になっていくように思われます。しかし、**この常識は誰に教えてもらいましたか?**

社会といっても組織等による部分社会から、すべての国民を包括する全体社会まで広範囲に渡ります。そこには様々な人が共存していて、価値観も様々です。つまり、「社会の常識」というものは何も一つではなく、星の数ほど存在するのです。ここで質問です。「**タダ働きもやむを得ない**」**というのは誰にとっての常識ですか?**

会社と労働者では持つべき考えが全く違うと
いうことを繰り返し述
べてきました。



自分の働き方を見直しましょう。



若い力

第 59 号

2016年 11月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515